

## 学会記事

**【第10回総会報告】** (2017年7月1日(土), 筑波大学東京キャンパス134教室, 出席者: 70名)

呉羽正昭庶務委員長の開会の辞のあと, 加賀美雅弘会員を議長, 中川紗智庶務委員を書記として選出し総会が始められた。

### I. 会務報告について

松井圭介常任委員長より会員数(2017年6月8日現在, 359名), 第9回大会の開催, 第21~22回例会の開催, 機関誌「地理空間」第9巻1~3号の刊行, ニュースレター(第25~28号)の発行, ホームページおよびメーリングリスト(jags-ml)の運営, 日本学術会議協力学術研究団体の認定, および2017年度地理空間学会賞(詳細は以下の通り)について報告があり, 承認された。

#### 【学術賞】

鹿嶋 洋(受賞対象: 鹿嶋 洋『産業地域の形成・再編と大企業』原書房, 236p., 2016年3月)

久木元美琴(受賞対象: 久木元美琴『保育・子育て支援の地理学』明石書店, 224p., 2016年10月)

山下亜紀郎(受賞対象: 山下亜紀郎『水環境問題の地域的諸相』古今書院, 186p., 2015年2月. 山下亜紀郎編『土地利用でみるアジアの都市化と自然環境』筑波大学出版会, 162p., 2016年3月)

#### 【奨励賞】

秋元菜摘(受賞対象: 秋元菜摘. 富山市のクラスター型コンパクトシティ政策と郊外のアクセシビリティ - 婦中地域におけるシミュレーション -. 地理学評論 87: 314-327, 2014年. 秋元菜摘. 一極集中型コンパクトシティ政策の有効性に関するアクセシビリティのシミュレーション分析 - 青森市における人口の集約化と公共交通の多頻度化 -. 地学雑誌 125: 523-544, 2016年.)

福井一喜(受賞対象: 福井一喜. 群馬県草津温泉の宿泊業におけるインターネット利用の動態 - 宿泊施設の経営戦略に着目して -. 地理学評論 88: 607-622, 2015年. 福井一喜・金 延景・上野李佳子・兼子 純. 地方都市の中心商店街における新規事業の創出 - 長野県佐久市岩村田本町商店街の事例 -. 都市地理学 11: 59-70, 2016年. 福井一喜. 東京のベンチャー IT 企業をめぐる情報技術者コミュニティの役割 - 東京の大規模会合の分析を通して -. 経済地理学年報 62: 87-101, 2016年.)

### II. 2016年度決算報告・監査報告について

山下亜紀郎会計委員長より2016年度の一般会計および特別会計の決算案が提示され, その収支について田林 明会計監査, 淡野明彦会計監査より適正であると承認したことが報告された。2016年度決算案は異議なく承認された。

### III. 2017年度事業計画について

松井圭介常任委員長より2017年度事業計画について, 「地理空間」第10巻1~3号の刊行, 第11回大会

の開催（2018年6月：駒澤大学を予定）、設立10周年記念行事の企画立案、例会の開催、学会賞や若手研究者助成による研究奨励、ニューズレターの発行（発表要旨特別号の発行を含む）、ホームページとメーリングリストの管理・運営が提案された。2017年度事業計画は異議なく承認された。

#### Ⅳ. 2017年度予算案について

山下亜紀郎会計委員長より2017年度予算案について、収入と支出に関する説明がなされた。設立10周年記念行事の予算はどこから支出するのか、会費収入を納入率100%で予算計上するのは非現実的ではないか、ページ超過料金を予算計上しても良いのではないかと、という3点について質問・意見がなされた。山下会計委員長より、設立10周年記念行事は2018年度開催であるから2017年度予算からは支出しない、会費収入を納入率100%で計上するかわりに予備費を多めにとることで対応している、長い論文を歓迎するという本学会の姿勢とペナルティとしてのページ超過料金の体系はそもそもそぐわないため名称の変更を含め今後検討していく、との返答があった。2017年度予算案は異議なく承認された。

#### Ⅴ. 役員・専門委員会の構成について

松井圭介常任委員長より役員および専門委員会（2016年7月1日～2018年6月30日）の構成員について提案がなされた。役員および専門委員会構成員は異議なく承認された。

会 長：矢ヶ崎典隆（日本大）

会計監査：田林 明（筑波大名誉）、淡野明彦（奈良教育大名誉）

常任委員：松井圭介（常任委員長，筑波大）、呉羽正昭（庶務委員長，筑波大）、山下亜紀郎（会計委員長，筑波大）、森本健弘（集会委員長，筑波大）、堤 純（編集委員長，筑波大）

評 議 員：井田仁康（筑波大）、伊藤徹哉（立正大）、小口千明（筑波大）、小野寺 淳（茨城大）、加賀美雅弘（東京学芸大）、兼子 純（愛媛大）、川瀬正樹（広島修道大）、菊地俊夫（首都大学東京）、呉羽正昭（筑波大）、小林岳人（千葉高）、篠原秀一（秋田大）、須山 聡（駒澤大）、平 篤志（香川大）、高橋重雄（青山学院大）、堤 純（筑波大）、中西僚太郎（筑波大）、中村周作（宮崎大）、中村理恵（前橋高）、仁平尊明（北海道大）、根田克彦（奈良教育大）、橋本雄一（北海道大）、平岡昭利（下関市大名誉）、松井圭介（筑波大）、丸山浩明（立教大）、村山祐司（筑波大）、森本健弘（筑波大）、山下亜紀郎（筑波大）、山下清海（立正大）、山下宗利（佐賀大）、若本啓子（宇都宮大）

#### <専門委員会>

庶務委員会：呉羽正昭（委員長）、秋山千亜紀（副委員長）、市川康夫、児玉恵理、中川紗智、橋爪孝介

会計委員会：山下亜紀郎（委員長）、麻生紘平、猪股泰広、栗林 慶、羽田 司、福井一喜

集会委員会：森本健弘（委員長）、池田真利子、石坂 愛、遠藤貴美子、坂本優紀、佐野浩彬、矢ヶ崎大洋

編集委員会：堤 純（委員長）、橋本暁子（副委員長）、飯塚 遼、井口 梓、石井久生、磯野 巧、伊藤徹哉、大石貴之、片岡博美、久木元美琴、小島大輔、佐藤大祐、田中耕市、淡野寧彦、仁平尊明、林 琢也、平井 誠、福本 拓、藤田和史、山本健太、吉田道代

(書記)：小室 讓, 本多広樹, 益田理広, 遊佐 暁, 渡邊瑛季  
 学会賞選考委員会：村山祐司(委員長), 井田仁康, 岩間信之, 中村周作, 仁平尊明, 横山 智  
 (※2017年7月1日～2018年6月30日, 1年間)

## Ⅵ. その他

松井圭介常任委員長より, 設立10周年記念行事案をメールにて募集するとの告知があった。また, 堤純編集委員長より, 地理空間への積極的な投稿が呼びかけられた。

以上で議事を終了し, 議長による書記と議長の解任が行われた。呉羽庶務委員長の閉会の辞をもって, 総会は終了した。

## 【大会報告】

第10回(2017年7月1日～7月2日, 於：筑波大学東京キャンパス文京校舎, 参加者80名)

### ・一般口頭発表

- 喜馬佳也乃(筑波大・院)：京都ハリストス正教会における外国出身信徒の現状  
 高橋珠州彦(明星学園中高)：東京市の土地区画整理事業地内に形成された駅前商店街－井荻町における道路拡幅事業からみた沿道景観－  
 竹原繭子(筑波大・院)：競合指標と補完指標からみる日豪間直行便の航空ネットワークの66年間の変遷  
 栗林 賢(北海道教育大旭川校)：北海道におけるフードバンク団体による食品調達経路の確保  
 小林岳人(県立千葉高)：GIS ソフトウェアで主題図を作成し発表する授業  
 －地理的な見方・考え方の育成－  
 周 宇放(筑波大・院)：観光客の行動パターンから見た三峡地域における観光の展開－重慶市巫山県を事例として－  
 吉次 翼(日本商工会議所)：インフラツーリズムによる地域振興の現状と課題  
 堀本雅章(法政大・沖縄文化研究所)：沖縄県竹富町鳩間島における観光に対する住民意識－2015年の調査報告－  
 杉本興運(首都大)：シンガポールにおける観光と MICE の発展  
 淡野明彦(奈良教大・名誉)：日本における世界遺産の登録後の経緯と課題

### ・シンポジウム「大都市における若者の観光・レジャーの行動と空間」

#### オーガナイザー：杉本興運(首都大)

- 杉本興運(首都大)：若者による観光・レジャーの特徴と研究動向(基調講演)  
 杉本興運(首都大)：東京を中心とした若者の日帰り観光行動の時間的・空間的特性  
 磯野 巧(三重大)：東京都における訪日教育旅行の展開－児童生徒の国際交流機会に着目して－  
 池田真利子(学振特別研究員 PD・東京学芸大)・卯田卓矢(名桜大)：東京における音楽空間からみた

### ナイトライフ観光の特性

太田 慧(首都大)：東京におけるナイトクルーズの展開と若者の集客戦略

#### ・ポスター発表

長崎宏輝(筑波大・院)：北陸地方における都市群の近接性の変化と要因分析

岩井優祈(筑波大・院)：ネットワーク解析を用いた津波避難圏域の地域差に関する研究

有村友秀(筑波大・院)：鹿児島県十島村における海上航路変遷の要因と地域変化

吉田 真(筑波大・院)：過疎地域における高齢者のコミュニティバスの利用実態に関する研究－群馬  
県下仁田町を事例に－

岡田浩平(筑波大・院)：しまなみ海道開通による観光業の変遷－愛媛県大三島を事例として－

ZENG Bindan (筑波大・院)：Itinerary patterns of Chinese group package tourist flows in Japan

川添 航(筑波大・院)：外国人定住化時代におけるイスラム系宗教施設の役割とその拡大－東京都  
豊島区「マスジド大塚」を事例として－

加藤ゆかり(筑波大・院)：クルド人女性の日常行動とホスト社会－埼玉県川口市のクルド社会を事例  
として－

鈴木修斗(筑波大・院)：近代期の福島県における海外移民送出の特性－移民を送り出した人々の経歴  
に着目して－

篠原弘樹(筑波大・院)・菅原考史(筑波大・院)：日本人ロングステイヤーの集住要因と適応戦略－タイ・  
チェンマイ県およびマレーシア・ペナン州を事例として－

橋爪孝介(筑波大・院)：近接地域における漁業管理システムの比較研究－志摩地方を事例に－

#### ・巡検

「水と緑の街、国分寺・府中歴史探訪－崖線と台地が育んだ街－」(参加者33名)

オーガナイザー：麻生紘平・小室 譲・周 宇放

#### 【地理空間学会会則】

地理空間学会ホームページをご参照下さい。

URL: <http://jags.ne.jp/>

#### 【編集委員会からのお知らせ】

2017年4月～2017年9月：「リサーチ・ペーパー」3編、「地理資料」2編について閲読結果をもとに検討し、  
「リサーチ・ペーパー」2編、「地理資料」2編を受理した。

#### 【次号以降の投稿について】

第11巻1号は、2018年6月20日の発行を予定しております。第11巻1号の原稿については随時受け付け  
ておりますが、第11巻1号に掲載されるには、2018年3月末までに受理が出ている必要があります。内容

は最新の論争から時事性、トピック性の高いテーマ、丹念な調査に基づく活きのよい事例研究まで幅広く受け付けております。会員皆様の活発な寄稿をお待ちしております。

本学会の活動を幅広く認知してもらうために、会員の皆様の大学研究室や大学・高校の図書館におきまして、会誌『地理空間』の定期購読を是非ご検討のほどお願いいたします。ご購入いただける場合には、編集委員会 (geospace@geoenv.tsukuba.ac.jp) までお知らせください。

**【投稿規程 & 執筆要項】**

地理空間学会ホームページをご参照ください。

URL : <http://jags.ne.jp/>

**【新入会員】** (2017年5月17日から2017年11月22日)

阿久津忠也 (帝京大学・学)

(会員数 : 358名, 2017年11月22日現在)